

G Suite のアカウントを 1600 人のアルバイト全員に発行。 BYOD で通達の徹底を図る



GLOBAL-DINING INC.

株式会社グローバルダイニング

〒107-0062
東京都港区南青山 7-1-5
<http://www.global-dining.com>

「カフェラ・ボエム」「ゼスト キャンティーナ」「モンスーンカフェ」「権八」などの飲食店を全国に 54 店舗（国内 52 店舗+海外 2 店舗）展開。顧客に喜ばれる空間を創造し、最高のサービスと最高の料理を提供する“エンターテインメントとしての食事”を創り出すことにこだわりを持つ。

「権八」「カフェラ・ボエム」「モンスーンカフェ」など 54 店舗の飲食店を展開。2009 年に G Suite を導入し、社外秘のマニュアルをセキュアに閲覧できる環境構築、内部統制のための ID 管理業務の効率化などにも活用の幅を広げている。2015 年 12 月、約 1600 名のアルバイトスタッフ全員にもアカウントを発行し、BYOD に舵を切った。ハンガアウトのメッセージで、伝達事項の徹底化を図る。

経営企画グループ 情報システムチーム
チームリーダー 吹上哲也氏

課題と効果

課題

1

サイボウズをオンプレミスで利用。
利用時間が集中し動作が遅くなるなど
ストレスフルな状況に



効果

1

クラウドによる G Suite への移行により、
サーバー容量増加などの懸念もなく快適
な利用環境に

課題

2

店舗には外国人スタッフも
少なくなく、日本語表示による
不都合があった



効果

2

G Suite の多言語対応によりクリア

課題

3

PC 端末を使わないアルバイトスタッフへの
プリントアウトによる伝達が、
三交代制で不徹底



効果

3

全員にアカウントを発行し、BYOD 環境
でハンガアウトにより伝達事項をプッ
シュ通知。伝達の徹底を図る

何が問題だったか？

オンプレミスによるさまざまな不都合

同社が2009年8月にG Suiteを導入する以前は、グループウェアとしてサイボウズをオンプレミスで利用していた。PC端末は本社が1人1台であったが、店舗においては基本的に店長室に数台が置かれ、スタッフが適宜使用していた。飲食店という業態上、PCを使う時間帯は限られており、サーバーにアクセスが集中。「200人用の製品をそれ以上の人数が使っていたこともあり、忙しいのに動作が遅くストレスフルな状況に。しかしサーバー増強ではきりがないと考えた」と経営企画グループ情報システムチームの吹上哲也チームリーダーは振り返る。末端のアルバイトスタッフ全員がPCを操作するという環境でもなかったため、本社からの伝達事項などはプリントアウトして配

布し周知するという対応が取られていたが、3交代制ではなかなか徹底されなかった。また、店舗スタッフには東南アジアや中国などの外国人が多く、表示言語が日本語だけという問題もあった。

「『タイトルや本文欄などは感覚的にわかって、いざ送信ボタンを押す時に本当に正しいのかわからずためらう』という不満が届いていたのです。多言語対応の必要性が浮上していました」

さらに、情報システムチームにおいてはオンプレミスによるサーバーのメンテナンスや負荷分散などの手間も要していた。

こうした諸問題の解決のため、サイボウズの契約更新を機に吹上氏はクラウド環境製品へのリプレイスを検討する。

どのように検討・導入したか？

クラウド型におけるセキュリティ性を重視

5つほどのクラウド型グループウェア製品の、セキュリティ性やアプリケーションの機能性、価格などについて比較検討。それらにおいて最も優位で、かつ唯一多言語対応のG Suiteが選定された。2009年の当時最重視されたのは、クラウド型を採用するにあたってのセキュリティ性。

「ポータブルで使えるのはいとしても、社内文書を添付したメールが社外の環境で見られてしまうなどの事態が起きてはいけません。

その点、G Suiteはシングルサインオンによるアクセス制御で社内環境からでしか閲覧できない設定が可能でした。これが大きかったですね」

また、以前から個人的にGmailを使用していた吹上氏は「諸機能の利便さを実感していたことも大きかった」と言う。一方、多言語対応については、「グローバルに使われているマイクロソフト製品にも当然期待したが、そうではなかったようだ」と指摘する。

どんな効果があったか？

アルバイト全員に必要な伝達事項が通知可能に

G Suite導入後、多言語に対応できるようになったことで、外国人スタッフからの操作の問い合わせは殆どなくなりました。Googleドライブはスタッフ用のマニュアルや調理手順書をアップするなどして活用を予定。これら社外秘のドキュメントはダウンロード制限をかけて社外流出を防ぐ。また、スプレッドシートとApps Scriptを活用し、内部統制のために必要なID・パスワードの変更管理業務を効率化。

「ASPの受発注システムを用いて店舗ごとに食材の発注をかけるのですが、各店舗のID・パスワードを年2回変更しなければなりません。従来は手渡ししていましたが、スプレッドシートとApps Scriptで関係者150名のアドレスに自動的に通知する仕組みをつくりました。劇的に楽になりましたね」

そして同社は2015年12月、約1600名のアルバイトスタッフ全員にもアカウントを発行し、BYODに舵を切る。スマートフォン所持率が98%と極めて高いことが背景にある。

「社内報サイトで『料理コンテスト〇月開催結果』といった情報更新が行われるごとに、そのリンク情報をハンガアウトのメッセージで

全員にプッシュ通知しています。メールのように見に行かなくても画面にポップアップされるので、自然に目に触れさせることができます。これで伝達率を高めるねらいがあります」と吹上氏は言う。従来は電話もよく使われていたが、電話では「聞いた・聞いていない」といった問題や、繋がらなかった際の再架電の手間が生じる。エビデンスが残るメッセージならそうした心配はない。セキュリティに関しては、シャドーIT対策として、ドメイン内でのみ使えるようにし、社外への発信ができないように制限をかけてクリアしている。

そのほか、各店舗を巡察するチームが、スマートフォンで現場の状況について声でレポートしながら撮影した動画をGoogle+にアップし共有するなどの活用法を検討している。

「従来は写真に文書を添えて提出していましたが、動画1つだけアップすればいいのでかなり効率化できると考えています」

アルバイト全員へのアカウント発行というケースはそうそうない。流動性も高く多様化が進むレストラン産業であるが、アルバイトを含む形でのG Suiteの利用は先進的といえる。

G Suite

今回の導入プロダクト「G Suite」

G Suiteは、クラウド型のオフィススイート。1人30GBまでの大容量メールボックス、スケジュール管理が簡単にできるカレンダー、共同編集が可能な文書作成、円滑なリモートワークを実現するビデオ通話、動画の投稿や共有、チャット、そして強力無比な検索など、G Suiteには、社内情報を共有・管理し、最大限に活用するさまざまな機能がセットされています。費用は、1ユーザーあたり年間6,000円。IT部門の管理者は、サーバー需要の増加、メンテナンス作業、セキュリティ対策などに悩む必要はありません。

お問い合わせはこちらから
<https://goo.gl/QUu2pL>



G Suiteの詳細については、右記URLもしくはQRコードからアクセスしていただくか、同ページ「お問い合わせ」よりお問い合わせください。
© Copyright 2016 Google
Googleは、Google Inc.の商標です。その他すべての社名および製品名は、それぞれ該当する企業の商標である可能性があります。

